

平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	緊急消防援助隊の出動経費 (緊急消防援助隊活動費負担金)		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	消防組織法第49条第1項 緊急消防援助隊に関する政令第5条		関係する計画、通知等	「福島復興再生計画基本方針(平成24年7月13日閣議決定)」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災において、消防庁長官の指示(消防組織法第44条)に基づき出動し、被災地で活動した緊急消防援助隊に関し、臨時・追加的に必要とされた経費を消防組織法第49条第1項及び緊急消防援助隊に関する政令第5条により負担することにより、緊急消防援助隊の活動の実効性を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災において、消防庁長官の指示(消防組織法第44条)に基づき出動し、福島県等の被災地に派遣され活動した緊急消防援助隊のヘリコプターに関し、定期点検時等に併せ実施する放射性物質に汚染されたエンジン内部の除染により臨時・追加的に必要とされた経費を消防組織法第49条第1項及び緊急消防援助隊に関する政令第5条により負担する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				408	204	
		繰越し等				-		
		計				408	204	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	東日本大震災時において、消防組織法第44条第5項に基づき活動したヘリコプターに関して、放射性物質に汚染されたエンジンの除染の完了			機	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	汚染されたエンジンの整備時における除染数			機	( - )	( - )	( - )	( 4 )
単位当たりコスト	汚染されたエンジンの状況及びエンジンの種類によりコストが異なるため算出が困難		算出根拠	-				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	緊急消防援助隊活動費負担金	408	204	平成26年度における対象団体の減に伴う減				
計	408	204						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 性 質	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	消防庁長官指示による緊急消防援助隊出動経費として、消防組織法第49条第1項等で規定された義務的経費を負担。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	東日本大震災において、消防庁長官の指示(消防組織法第44条)に基づき出動し、福島県等の被災地に派遣され活動した緊急消防援助隊のヘリコプターに関し、放射性物質に汚染されたエンジン内部の除染により臨時・追加的に必要とされた経費に限り、消防組織法第49条第1項等により負担する。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点 検 結 果	大規模災害への緊急消防援助隊の活動の実効性を強化するため、臨時・追加的に必要とされた経費を負担するものであり、引き続き適切に執行していくとともに、今後、出動したヘリコプターの除染状況に応じ、平成26年概算要求を行う。				
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	消防ヘリのエンジン内部の除染のため、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		
				平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

